

公明党岡山市議団 平成 30 年度予算編成に対する

要 望 書

公明党岡山市議団

平成 29 年 11 月 29 日

岡山市長 大森雅夫 様

公明党岡山市議団
団長 則武 宣弘

はじめに

わが国は、本格的な少子化・超長寿化・人口減少社会の到来を迎えようとしています。特に、団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年問題や地方都市の消滅の問題など、厳しい将来見通しにどのように対応をするかが課題であります。

そうした中、今、政治に求められるものは、まさにこの日本最大の課題に立ち向かい、その時代に沿った経済・社会システムをつくりあげる「構想力」と「実行力」が問われています。

本市では第 6 次総合計画とその前期中期計画を策定し、今後岡山市においても、人口減少社会を見据え、岡山市らしさを発揮しながら、都市の活力を生み出し、さらなる発展に向けて取り組みを進めていこうとしています。

私たち公明党岡山市議団は、2013 年に「岡山市民未来創生プラン」を提案し、市民の皆さんとともに岡山市のまちづくりをすすめてきました。それはすべての人が「夢を抱き希望輝くまち・おかやま」の創生に向け、良質な教育や子育てしやすいまちづくりをすすめることやライフステージに応じた多種多様な行政サービスが受けられる市民協働のネットワークの構築を目指してまいりました。

私どもも今後の本市の都市づくりの基本方向を見据えながら、新たな行政課題や問題に対応し、市民が安心・安全で環境にやさしく、歴史と文化が薫る風格のある都市づくりを推進していくために、平成 30 年度の予算要望書を提出します。

公明党岡山市議団 平成30年度予算要望書

☆は新規予算要望項目

◎は重点予算要望項目

《岡山市民未来創生プランから》

プラン1

岡山駅を起点とする「OKAYAMAビッグプレイゾーン」の再開発

1. 中心市街地に岡山を代表する食材を活かした「食」を開発する仕組みを作り、中心市街地へ訪れる市民、観光客(外国人含む)らが、楽しく食事ができる「場」が提供できるよう、引き続き情報館の開設等を含め、情報提供のあり方を検討すること。
2. 中心市街地における「にぎわいのまちづくり」推進のため、千日前に整備する文化施設と、その周辺における課題の抽出と、さらなるにぎわいが生まれる仕組みづくりを引き続き推進すること。

プラン2

「日本一子育てしやすいまち、女性が働きやすいまち・OKAYAMA」の創生

3. 未入園児童、待機児童の解消に向け、市立幼保園の民営化、幼保連携型認定こども園化を速やかに推進すること。また、必要な人員配置を行うこと。(◎)
4. 市立幼保園の民営化を計画的に推進し、30区域の市立認定こども園の運営に必要な保育士等の職員を確保すること。
5. 未入園児童、待機児童解消の一助となる市立幼稚園の3歳児保育・預かり保育事業に取り組むこと。
6. 私立園保育士確保に向け、処遇改善に資する委託料の増額を継続的に行うとともに、更なる増額を検討すること。
7. 放課後児童クラブの運営一元化を速やかに事業化すること。またそのための組織

と要員を充実すること。

プラン3

岡山市内の多種多様な既存施設を活性化する「市民協働ネットワーク」の構築

8. 公共施設の複合化・多機能化と「市民協働システム」(多種多様な市民サービスの情報が一つの窓口に集約される機能)を推進すること。
9. 市民協働事業の取り組みを着実に推進すること。
10. ESD・市民協働推進センターに交流の場を提供する機能を持たせ、市民が使いやすい場所に設置すること。
11. 地域コミュニティを持続可能とするために、町内会の法人化を促進するとともに、資産を保有しない町内会においては、一定の基準となる規約(事業、役員、会計等)導入を推進すること。

平成30年度予算編成に対する要望書

<総務委員会>

12. マイナンバーカードの普及に努め、その利活用について積極的に検討を行なうとともに、更なる窓口業務の簡素化、市民サービスの向上を図ること。
13. 学校区単位の自主防災コミュニティの組織化と訓練の実施、防災士の育成、防災マップの作成等を進め、地域防災力の向上を図ること。
14. 公衆無線 LAN の整備、備蓄品の見直し、子どもや女性、障がい者への配慮等、避難所の環境整備を進めること。
15. 災害時の拠点となる本庁舎の建て替えについて、その手法や基本構想など検討を進めること。(◎)
16. 岡山市に所在する中古車販売店が、販売目的で岡山市に登録している軽自動車について、現在、軽自動車税は半額の減免措置がされているが、全額免除にすること。
17. 市民生活や働き方が多様化していることから、行政窓口の土日・時間外での対応やサービスのワンストップ化を可能にする、市政コールセンターの設置を検討すること。(☆)

<保健福祉委員会>

18. コールリコール(個別受診勧奨)の強化をすすめ、がん検診の受診率 50%以上をめざすこと。
19. 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に円滑なサービスの提供を図るとともに、第2層の生活支援コーディネーターの配置と地域支援事業の構築を進めること。
20. 地域共生社会の実現に向けて、地域福祉計画を策定し、共生型サービス創設や支え合う地域づくりを担う仕組みを構築するとともに人材を育成すること。(☆◎)

21. 病児・病後保育の受け皿について、看護や介護等、多くを女性が占める事業所は全市域に設置されていることから、絶対数の充足と広域的な設置促進が進むような制度見直しを進めること。
22. 障害者差別解消法にうたわれた「不当な差別的取扱い」の禁止、「合理的配慮の提供」について、本市の施策において十分に検証、推進すること。
23. 重度心身障がい者医療費助成制度の対象者に精神障がい者(1級、2級)、知的障がい者(療育B)を加え拡充すること。(☆◎)
24. いわゆる障がい者権利条約にも定められたとおり「手話は言語」の認識に立ち、手話言語条例を制定すること。(☆◎)

<環境消防水道委員会>

25. 岡山市独自の「ICT を活用した新しい救急医療システム」が、早急に構築できるよう予算措置すること。
26. 救急相談ダイヤル「#7119」の導入も含め、年々増加する救急件数への対策を講ずること。(☆)

<経済委員会>

27. 新しい岡山市民会館の誘致が千日前に決定されたものの、面する商店街においては老朽化したアーケードや古びた歩道等があり、今後は施設周辺の環境整備について推進すること。
28. 中小企業の持続的発展を支援するため、使いやすい融資制度のメニュー拡充に努めること。
29. 岡山城の更なる魅力アップに向け、関連する文化・芸術イベントを充実すること。また、岡山城と天守閣前広場の効果的な運用に向け、観光産業局が一体的に所管するとともに、歴史を背景としたエンターテインメント施設として利用者にとっても運営者にとっても利便性や使い勝手がよくなるようソフト・ハードの見直しを行うこと。(◎)
30. 市有施設をはじめ市内の観光エリアへ公衆無線 LAN の整備を行い、市民や訪日

客を含む観光客が市政や観光の情報を得やすい通信環境を整えること。(☆◎)

<建設委員会>

31. 地域交通戦略の柱である公共交通の重要性を市民に周知を図るとともに、公共交通の利便性向上と公共交通不便地域に対応すること。
32. 都市交通戦略の推進に向けて、吉備線の LRT 化及び路面電車の岡山駅乗り入れ実現など延伸・環状化に向けて、丁寧かつ着実に推進すること。
33. 岡山駅前の再開発事業を踏まえ、歩行者の利便性と回遊性を向上すべくペDESTリアンデッキの検討を行うこと。(☆)
34. 道路・橋梁、下水道等インフラの老朽化対策に着実に取り組むこと。併せて、路面下空洞化調査を計画的に行うこと。
35. 市民要望に応えるために、それに見合った各区役所地域整備課の人員体制を十分に整えること。
36. 住宅確保要配慮者のそれぞれの状況に応じ、入居支援、入居後の見守り、家賃補助など幅広い居住支援に取り組む、新たな住宅セーフティネット制度を構築すること。また、災害被災者等の受け皿についても、良質な住宅の提供に努めること。
37. 用水路への転落防止策を着実に推進すること。
38. 頻発する土砂崩れ等斜面崩壊に対して、適切な対応をとり、安全対策についても十分な検証・検討を行うこと。

<市民文教委員会>

39. 新しい文化芸術施設の設計について、高齢者や障がい者などが利用しやすいように、エレベーターでの客席利用を含むバリアフリー化を図ること。更に多様なニーズに対応できるようトイレや表示などユニバーサルデザインに配慮すること。
40. 性的マイノリティの正しい理解の促進と適切な支援を図るために、啓発資料を活用し市民や教職員への研修、相談体制を更に充実させること。併せてレインボー

グッズの作成などアライ(Ally:LGBT 支援者)の輪を広げる取り組みを推進すること。

41. DV 被害者を支援するため相談窓口の周知に努め、自立支援の事業に取り組むこと。また、児童や介護の必要な高齢者の支援など多様な関係機関との連携を強化し、更に未然防止の観点から学校教育の中でも啓発を行うこと。
42. 7 歳児(小学1、2 年生)の交通事故が全国的に突出して多い現実を踏まえ、発達上の特性を踏まえ危険を考えさせる教育に取り組むこと。また、自転車先進都市おかやまのマナーアップに向け、まずは交差点等の走行実態調査を行い、対策を図ること。(☆)
43. 岡山市の都市格向上のため、岡山フィルハーモニック管弦楽団の支援体制の構築と予算措置を図ること。(☆)
44. 学校園のエアコンの設置、トイレの洋式化、運動場芝生化により学びの環境を整備すること。(一部☆◎)
45. 特別支援学級での学びを支援するため、教員や特別支援教育コーディネーターの資質向上と授業の充実を図り、小中学校の連携を深め、更に支援員の研修内容を充実させること。
46. 保育園・幼稚園のこたばの教室、小・中学校の通級指導教室に正規職員・言語聴覚士などの資格者の配置と増員を図ること。(☆◎)
47. 中央公民館に代わる地区公民館をバックアップ、総合調整を行う人材の確保など当面の体制を早急に整備すること。更に変化する地域社会の課題を認識し解決する新たな公民館の役割や機能について、来年度以降、検討する組織を立ち上げ基本方針を策定すること。(☆)
48. 岡山市図書館整備計画を早急に見直し、生涯学習の推進と地域課題解決の役割を果たす施設整備と機能について検討すること。(☆)
49. 次期学習指導要領で求められる普通教室の ICT の環境整備を進めること。(☆◎)

以上